

高温障害対策 例年より早めに収穫作業・乾燥調製施設の 稼働計画を立てましょう！

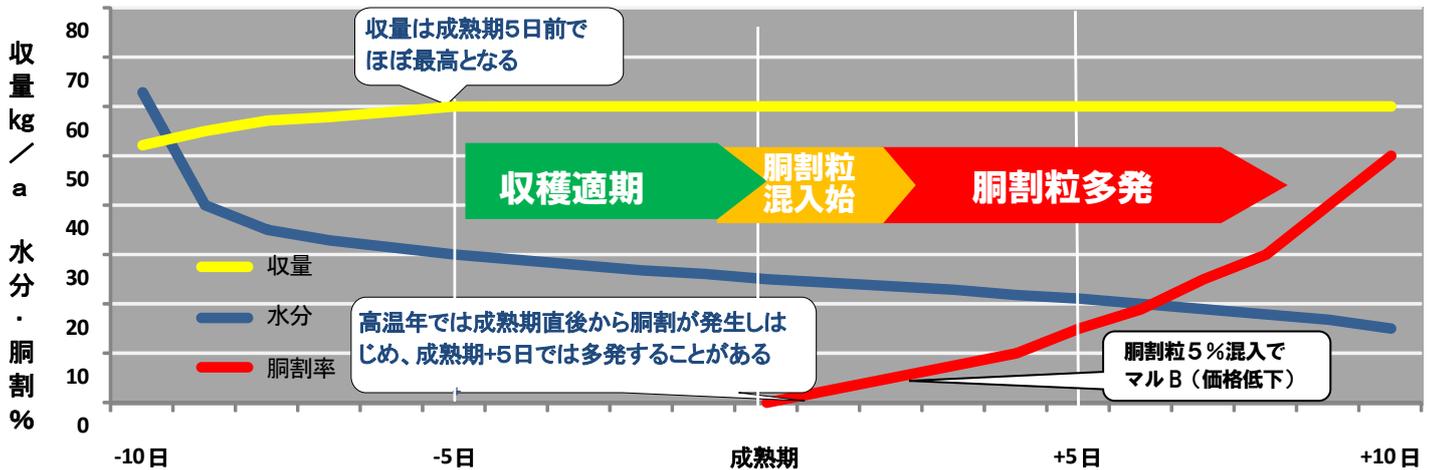
長野米生産販売対策協議会
長野県農政部農業技術課

「コシヒカリ」の収穫開始予測は、5月25日の田植えで、佐久地域の標高660mでは、9月20日と予想されます。ただし、**最近の高温傾向によりさらに前進することが予想されます。**

また、気象庁の1か月予報（7月29日発表）では**気温が平年より高い確率が70%**となっており、**高温登熟による白未熟米や刈遅れによる胴割米が多発する恐れ**があります。

そのため、出穂後の水管理を徹底するとともに、刈遅れとならないよう適期収穫に努め、**1等米比率全国一位**を確保しましょう。

【図 水稲の成熟期から見た収量、品質への影響と収穫適期】



【出穂期～収穫期に行う対策】

○ 適正な水管理を！

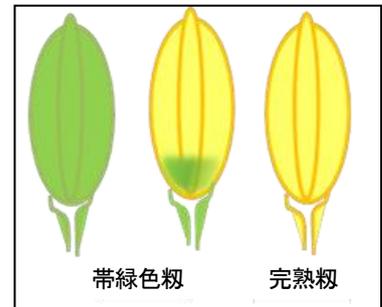
出穂後に落水管理をしたり、落水を早めると胴割米・白未熟米（乳白）が多発します。適期落水後も「走水」で水分を補給しましょう。
※土壌が乾きやすい砂質の水田では特に要注意です。

○ 収穫・乾燥調製の計画は早めに！

- ・ **最新の成熟期（刈取）予測を確認**しましょう
- ・ **今後の高温に備え、コンバインや乾燥調製施設の準備・整備は、例年より早め**に行いましょう

○ 適期刈り取りを厳守しましょう！

- ・ 成熟期（刈取）予測を参考に、
帯緑色 籾歩合を確認しましょう！
※高温の年は、葉色が濃いまま籾が先に熟する場合もあります。
葉や茎の色ではなく、「籾の色」で刈取り始めを判断しましょう！



「帯緑色籾歩合」とは？⇒1つの穂にある緑色の籾の割合
☆刈取判断の目安

- 15%：あと5日程度で収穫開始
- 10%：収穫開始！（収量は既に最大値に達しています）
- 5%：成熟期。これ以降は穂先から胴割れが発生！
- 2%：刈取り晩限。胴割れが急増！
- 0%：完全な刈り遅れ！

斑点米カメムシ類対策

最近、カメムシ類が原因した「斑点米」による米の等級落ちが目立っており、長野米の強みである「**全国トップクラスの1等米比率**」が脅かされています。

本年も病害虫防除所から注意報が発表され、斑点米カメムシ類が多発する恐れがあります。

斑点米カメムシ類対策を実施し、長野米の品質向上を目指しましょう！



斑点米

※ 斑点米カメムシ類は最も多いアカヒゲホソミドリカスミカメや近年、分布を拡大しているアカスジカスミカメの被害が目立ちます。

※ その他、アカヒメヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシの多い地域が見られます。



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

対策のポイント

① 畦畔雑草管理

出穂期2週間前頃までに草刈りを行いますが、出穂間近や登熟期間中（特に乳熟期～糊熟期）になると、除草により水田に追い込まれたカメムシ類が水田に定着するおそれがあるため実施しないようにします。

② 水田内雑草管理

アカスジカスミカメの発生地域では、周辺の畦畔や雑草地のほか水田雑草（イヌホタルイ）も増殖源となるため、水田内雑草の管理も徹底しましょう。

③ 薬剤防除

カメムシの発生種により防除適期が異なります。このため、「県農作物病害虫雑草防除基準」を参考して、発生種に応じた薬剤を選択し、適期に薬剤散布を行います。

また、薬剤散布にあたってはミツバチ等への危被害防止に十分注意しましょう。

・詳しくは最寄りのJA、農業農村支援センターにお問い合わせください

【お問い合わせ先】

佐久農業農村支援センター 電話 0267-63-3167